

つしん景況レポート

作州地域中小企業景気動向調査 2016.4~6月期 第18回

【特別調査—中小企業における事業上の情報収集・発信について】

津山信用金庫は、作州地域内245企業の経営者のご協力のもと、ここに第18回つしん景況レポートを発刊いたします。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況:4月~6月の業況は雨曇、7月~9月の見通しも雨曇■

【地域別天気図】	2015年 4月~6月	2015年 7月~9月	2015年 10月~12月	2016年 1月~3月	今期実績 4月~6月	来期見通し 7月~9月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

●作州地域全体では、今期(2016年4月~6月)の業況判断DIは、前期比5.3ポイント下落し、マイナス1.7となり、消費増税の反動があった2014年4月~6月期以来のマイナス水準となった。来期(2016年7月~9月)も今期実績比0.4ポイント下落のマイナス2.1と調査開始以来、2度目の2期連続マイナス水準となる見通しとなっている。

●地域別には、津山鏡野地域は前期比1.8ポイント下落しプラス2.6、真庭地域は前期比6.1ポイント下落しマイナス6.1、美作勝央地域は前期比15.9ポイント下落しマイナス11.3となった。来期は、津山鏡野地域マイナス0.6、真庭地域マイナス8.2と景況感の悪化を見込むものの、美作勝央地域ではゼロと、景況感が改善する見通しとなっている。

業況判断DI	前期	今期実績				来期見通し			
地域別	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
作州地域全体	3.6	26.1	46.1	27.8	▲ 1.7	22.4	53.1	24.5	▲ 2.1
津山鏡野地域	4.4	28.3	46.1	25.7	2.6	25.7	48.0	26.3	▲ 0.6
真庭地域	0.0	24.5	44.9	30.6	▲ 6.1	20.4	51.0	28.6	▲ 8.2
美作勝央地域	4.6	20.5	47.7	31.8	▲ 11.3	13.6	72.7	13.6	0.0

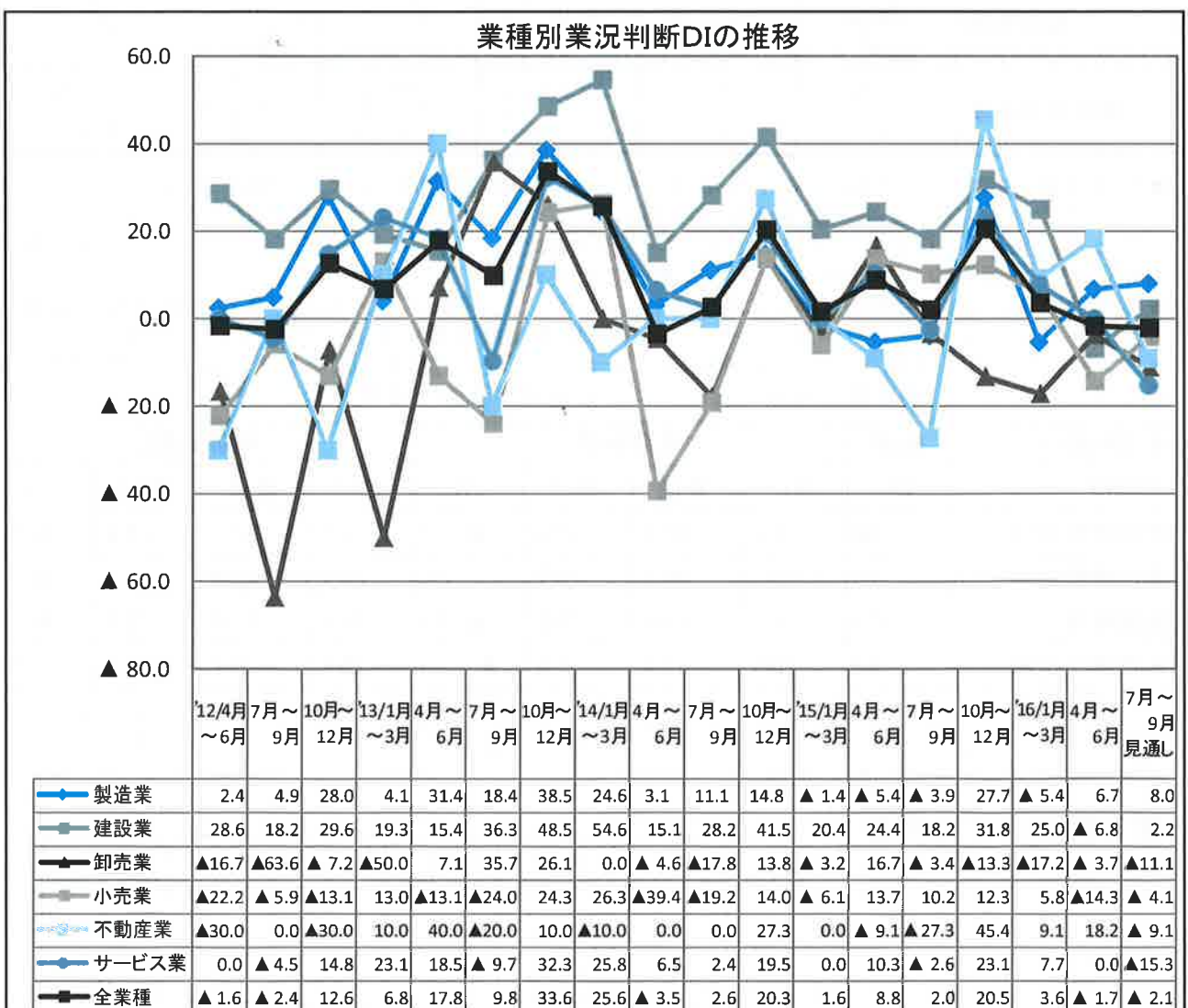
※DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上~ 30未満	0以上~ 10未満	▲10以上 ~0未満	▲30以上 ~▲10未満	▲30未満
天気図						

■全業種総合■

【業種別 天気図】	2015年 4月～6月	2015年 7月～9月	2015年 10月～12月	2016年 1月～3月	今期実績 4月～6月	来期見通し 7月～9月
製造業						
建設業						
卸売業						
小売業						
不動産業						
サービス業						
全業種						



全業種	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	3.6	26.1	46.1	27.8	▲ 1.7	22.4	53.1	24.5	▲ 2.1
売上	▲ 7.3	29.8	32.2	38.0	▲ 8.2	31.8	44.1	24.1	7.7
収益	▲ 3.6	28.2	35.9	35.9	▲ 7.7	27.8	46.1	26.1	1.7

- 業況判断DIは、今期(2016年4月～6月)はマイナス1.7となり、前期比5.3ポイント下落した。来期(2016年7月～9月)見通しはマイナス2.1となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス8.2となり、前期比0.9ポイントと僅かに下落した。来期見通しはプラス7.7となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス7.7となり、前期比4.1ポイント下落した。来期見通しはプラス1.7となっている。

全業種	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI
資金繰り	▲ 4.9	9.0	80.8	10.2	▲ 1.2	4.9	86.5	8.6	▲ 3.7
雇用(人手過不足)	▲ 24.5	6.5	58.8	34.7	▲ 28.2	3.7	64.9	31.4	▲ 27.7
設備投資	▲ 11.3	3.8	79.9	16.2	▲ 12.4	2.1	83.3	14.5	▲ 12.4

- 資金繰り判断DIは、今期(2016年4月～6月)はマイナス1.2となり、前期比3.7ポイント改善した。来期(2016年7月～9月)見通しはマイナス3.7となっている。
- 人手過不足判断DIは、今期はマイナス28.2となり、前期比3.7ポイント下落した。来期見通しはマイナス27.7となっている。建設業がマイナス34.1(うち住宅建設がマイナス43.8)、サービス業がマイナス33.3(うち医療福祉業がマイナス38.5)で全業種平均を下回っている。
- 設備投資DIは、今期はマイナス12.4となり、前期比1.1ポイント下落した。来期見通しもマイナス12.4となっている。製造業がマイナス20.0、サービス業がマイナス17.9で全業種平均を下回っている。

■製造業■

製造業全般	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	▲ 5.4	34.7	37.3	28.0	6.7	29.3	49.3	21.3	8.0
売上	▲ 25.3	36.0	34.7	29.3	6.7	37.3	44.0	18.7	18.6
収益	▲ 26.7	32.0	40.0	28.0	4.0	30.7	50.7	18.7	12.0

- 製造業の業況判断DIは、今期(2016年4月～6月)はプラス6.7となり、前期比12.1ポイント改善した。来期(2016年7月～9月)見通しはプラス8.0となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス6.7、来期見通しはプラス18.6となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス4.0、来期見通しはプラス12.0となっている。
- 製造業の内、その他製造業(金属製品製造業、木材・木製品製造業、農林業を除いたもの)の業況判断DIは、今期はプラス18.4、来期見通しはマイナス2.6となっている。
- 熊本震災の影響等で大量受注があった企業やネット販売が好調な企業からは景況感が良いとの声が聞かれた。

製造業のうち: 金属製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	▲ 7.7	30.8	30.8	38.5	▲ 7.7	53.8	38.5	7.7	46.1
売上	▲ 7.7	46.2	15.4	38.5	7.7	53.8	46.2	0.0	53.8
収益	▲ 7.7	38.5	30.8	30.8	7.7	53.8	46.2	0.0	53.8

- 金属製品製造業の業況判断DIは、今期(2016年4月～6月)は前期と変わらず、マイナス7.7となった。来期(2016年7月～9月)見通しはプラス46.1と大幅な上昇を見込んでいる。
- 売上判断DIは、今期はプラス7.7、来期見通しはプラス53.8となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス7.7、来期見通しはプラス53.8となっている。
- 熊本震災の影響やバイオマス発電設備等で需要が増加しているとの声や、機械部品の大量受注があったなどの声が聞かれた。

製造業のうち: 木材・木製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	▲ 23.1	7.7	46.2	46.2	▲ 38.5	23.1	53.8	23.1	0.0
売上	▲ 23.1	23.1	46.2	30.8	▲ 7.7	30.8	53.8	15.4	15.4
収益	▲ 23.0	15.4	53.8	30.8	▲ 15.4	30.8	46.2	23.1	7.7

- 木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2016年4月～6月)は前期比15.4ポイント下落し、マイナス38.5となった。来期(2016年7月～9月)見通しはゼロとなっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス7.7、来期見通しはプラス15.4となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス15.4、来期見通しはプラス7.7となっている。
- 製材所からは、販売数量と単価が前年同期比でマイナスとなっているとの声が複数聞かれた。

製造業のうち: 農林業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	▲ 9.1	54.5	27.3	18.2	36.3	36.4	36.4	27.3	9.1
売上	▲ 63.6	54.5	27.3	18.2	36.3	54.5	27.3	18.2	36.3
収益	▲ 63.6	54.5	9.1	36.4	18.1	36.4	45.5	18.2	18.2

- 農林業の業況判断DIは、今期(2016年4月～6月)は前期比45.4ポイント大幅に改善し、プラス36.3となった。来期(2016年7月～9月)見通しはプラス9.1となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス36.3、来期見通しもプラス36.3となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス18.1、来期見通しはプラス18.2となっている。
- 農業では、収穫期を迎えたこと、林業では、一時的に市況が回復したこと、業況が改善している。また、合理化を図るため林地の測定等や農薬散布等にドローンの利用を計画しているとの声が複数聞かれた。

■建設業■

建設業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	25.0	25.0	43.2	31.8	▲ 6.8	22.7	56.8	20.5	2.2
売上	22.7	22.7	38.6	38.6	▲ 15.9	31.8	54.5	13.6	18.2
収益	18.2	18.2	40.9	40.9	▲ 22.7	25.0	56.8	18.2	6.8

- 建設業の業況判断DIは、今期(2016年4月～6月)は前期比31.8ポイントと大幅に下落し、マイナス6.8となった。来期(2016年7月～9月)見通しはプラス2.2となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス15.9、来期見通しはプラス18.2となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス22.7、来期見通しはプラス6.8となっている。
- 住宅建設を除いた建設業の業況判断DIは、今期はプラス3.6、来期見通しはプラス3.5となっている。
- 年度替りで公共工事の端境期であることや民間工事の受注減により、景況感が悪化している。

建設業のうち: 住宅建設	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	0.0	18.8	37.5	43.8	▲ 25.0	25.0	50.0	25.0	0.0
売上	17.7	18.8	50.0	31.3	▲ 12.5	31.3	50.0	18.8	12.5
収益	17.6	12.5	50.0	37.5	▲ 25.0	18.8	56.3	25.0	▲ 6.2

- 住宅建設業者の業況判断D Iは、今期(2016年4月～6月)は前期比25.0ポイントと大幅に下落し、マイナス25.0となった。来期(2016年7月～9月)の見通しはゼロとなっている。
- 売上判断D Iは、今期はマイナス12.5、来期見通しはプラス12.5となっている。
- 収益判断D Iは、今期はマイナス25.0、来期見通しはマイナス6.2となっている。
- 消費税増税前の工事が完了し、消費税再増税による受注増を期待していたが、再延期となり力強さを感じなくなったとの声が複数聞かれた。

■卸売業■

卸売業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	▲ 17.2	25.9	44.4	29.6	▲ 3.7	18.5	51.9	29.6	▲ 11.1
売上	▲ 31.0	40.7	18.5	40.7	0.0	33.3	37.0	29.6	3.7
収益	▲ 13.8	40.7	25.9	33.3	7.4	33.3	29.6	37.0	▲ 3.7

- 卸売業の業況判断D・Iは、今期(2016年4月～6月)は前期比13.5ポイント改善しマイナス3.7となった。来期(2016年7月～9月)見通しはマイナス11.1となっている。
- 売上判断D Iは、今期はゼロ、来期見通しはプラス3.7となっている。
- 収益判断D Iは、今期はプラス7.4、来期見通しはマイナス3.7となっている。
- 企業への売上減少を消費者への直接販売等によりカバーしているとの声が複数聞かれた。

■小売業■

小売業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	5.8	18.4	49.0	32.7	▲ 14.3	26.5	42.9	30.6	▲ 4.1
売上	13.8	20.4	26.5	53.1	▲ 32.7	32.7	34.7	32.7	0.0
収益	23.5	22.4	30.6	46.9	▲ 24.5	30.6	36.7	32.7	▲ 2.1

- 小売業の業況判断D Iは、今期(2016年4月～6月)は前期比20.1ポイントと大幅に下落しマイナス14.3となった。来期(2016年7月～9月)見通しはマイナス4.1となっている。
- 売上判断D Iは、今期はマイナス32.7、来期見通しはゼロとなっている。
- 収益判断D Iは、今期はマイナス24.5、来期見通しはマイナス2.1となっている。
- 燃料小売業者からは、厳しい販売価格競争の中で、収益を確保するため仕入先の見直しや顧客サービスの差別化に取り組んでいるとの声が複数あった。

小売業のうち: 自動車小売業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	▲ 30.8	14.3	42.9	42.9	▲ 28.6	28.6	35.7	35.7	▲ 7.1
売上	30.7	7.1	21.4	71.4	▲ 64.3	28.6	42.9	28.6	0.0
収益	30.8	7.1	21.4	71.4	▲ 64.3	28.6	42.9	28.6	0.0

- 自動車小売業の業況判断D Iは、今期(2016年4月～6月)は前期比2.2ポイント改善しマイナス28.6となった。来期(2016年7月～9月)見通しはマイナス7.1となっている。
- 売上判断D Iは、今期はマイナス64.3、来期見通しはゼロとなっている。
- 収益判断D Iは、今期はマイナス64.3、来期見通しはゼロとなっている。
- 需要期であった前期の反動に加え、新車販売の低迷で中古車が品薄となっているとの声が複数聞かれた。一方で、地域の販売減を補うためネット販売を行っているとの声が聞かれた。

■不動産業■

不動産業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	9.1	18.2	81.8	0.0	18.2	9.1	72.7	18.2	▲ 9.1
売上	9.1	27.3	18.2	54.5	▲ 27.2	36.4	27.3	36.4	0.0
収益	0.0	27.3	18.2	54.5	▲ 27.2	36.4	27.3	36.4	0.0

- 不動産業の業況判断D Iは、今期(2016年4月～6月)は前期比9.1ポイント上昇しプラス18.2となった。来期(2016年7月～9月)見通しはマイナス9.1となっている。
- 売上判断D Iは、今期はマイナス27.2、来期見通しはゼロとなっている。
- 収益判断D Iは、今期はマイナス27.2、来期見通しはゼロとなっている。
- 津山地域では、土地価格の下落が止まらないとの声が複数あった。また、真庭地域では、工場新設や増設等で単身者が増加しているため、賃貸物件が不足しているとの声があった。

■サービス業■

サービス業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	7.7	23.1	53.8	23.1	0.0	10.3	64.1	25.6	▲ 15.3
売上	▲ 20.5	30.8	41.0	28.2	2.6	17.9	53.8	28.2	▲ 10.3
収益	▲ 12.9	30.8	41.0	28.2	2.6	15.4	53.8	30.8	▲ 15.4

- サービス業の業況判断D Iは、今期(2016年4月～6月)は前期比7.7ポイント下落しゼロとなった。来期(2016年7月～9月)見通しはマイナス15.3となっている。
- 売上判断D Iは、今期はプラス2.6、来期見通しはマイナス10.3となっている。
- 収益判断D Iは、今期はプラス2.6、来期見通しはマイナス15.4となっている。
- 観光業者からは、観光イベントやインバウンドによる誘客で想定外に好調であったが、7月からの岡山ー香港空港間の減便の影響を懸念する声が複数聞かれた。

サービス業のうち： 医療福祉業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI
業況	0.0	30.8	53.8	15.4	15.4	7.7	84.6	7.7	0.0
売上	▲ 7.7	23.1	46.2	30.8	▲ 7.7	15.4	69.2	15.4	0.0
収益	▲ 7.7	23.1	46.2	30.8	▲ 7.7	7.7	76.9	15.4	▲ 7.7

- 医療福祉業の業況判断D Iは、今期(2016年4月～6月)は前期比15.4ポイント上昇しプラス15.4となった。来期(2016年7月～9月)見通しはゼロとなっている。
- 売上判断D Iは、今期はマイナス7.7、来期見通しはゼロとなっている。
- 収益判断D Iは、今期はマイナス7.7、来期見通しもマイナス7.7となっている。
- 医療業者からは、4月の診療報酬改定による大きな影響はなかったとの声が複数聞かれた。また、薬価改定に関しては、影響があったとの声となかったとの声の両方が聞かれた。一方で、医療品取扱業者からは売上が減少したとの声が複数あった。

■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

昨年同期比較売上高DI				
業種別	増加	変らず	減少	DI
製造業	32.0	41.3	26.7	5.3
建設業	29.5	31.8	38.6	▲ 9.1
卸売業	29.6	37.0	33.3	▲ 3.7
小売業	24.5	32.7	42.9	▲ 18.4
不動産業	27.3	54.5	18.2	9.1
サービス業	25.6	48.7	25.6	0.0
総計	28.6	39.2	32.2	▲ 3.6

昨年同期比較販売価格DI				
業種別	増加	変らず	減少	DI
卸売業	22.2	74.1	3.7	18.5
小売業	10.2	73.5	16.3	▲ 6.1
総計	14.5	73.7	11.8	2.7

昨年同期比較収益DI				
業種別	増加	変らず	減少	DI
製造業	28.0	46.7	25.3	2.7
建設業	29.5	34.1	36.4	▲ 6.9
卸売業	25.9	44.4	29.6	▲ 3.7
小売業	22.4	44.9	32.7	▲ 10.3
不動産業	27.3	45.5	27.3	0.0
サービス業	28.2	51.3	20.5	7.7
総計	26.9	44.5	28.6	▲ 1.7

- ①昨年同期(2016年4月～6月)比較売上高DIは、全業種ではマイナス3.6となった。
 ②昨年同期比較収益DIは、建設業、卸売業、小売業でマイナスとなり、全業種ではマイナス1.7となった。
 ③昨年同期比較販売価格DIは、卸売業プラス18.5、小売業マイナス6.1となった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
業種別	DI	上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降	DI
製造業	▲ 5.4	4.0	89.3	6.7	▲ 2.7	5.3	86.7	8.0	▲ 2.7
建設業	▲ 2.3	9.1	75.0	15.9	▲ 6.8	4.5	86.4	9.1	▲ 4.6
卸売業	▲ 3.4	3.7	77.8	18.5	▲ 14.8	0.0	96.3	3.7	▲ 3.7
小売業	0.0	14.3	83.7	2.0	12.3	12.2	83.7	4.1	8.1
不動産業	▲ 36.4	9.1	63.6	27.3	▲ 18.2	0.0	54.5	45.5	▲ 45.5
サービス業	▲ 5.1	5.1	87.2	7.7	▲ 2.6	10.3	84.6	5.1	5.2
総計	▲ 4.8	7.3	82.9	9.8	▲ 2.5	6.5	85.3	8.2	▲ 1.7

●販売価格DIは、全業種では5期連続のマイナスとなり、マイナス2.5となった。来期見通しは、全業種でマイナス1.7と引き続きマイナスを予想している。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
業種別	DI	上昇	変らず	下降	DI	上昇	変らず	下降	DI
製造業	5.3	10.7	81.3	8.0	2.7	9.3	84.0	6.7	2.6
建設業	2.2	11.4	86.4	2.3	9.1	6.8	90.9	2.3	4.5
卸売業	13.8	3.7	92.6	3.7	0.0	3.7	96.3	0.0	3.7
小売業	▲ 2.0	22.4	69.4	8.2	14.2	18.4	77.6	4.1	14.3
不動産業	▲ 45.5	0.0	54.5	45.5	▲ 45.5	0.0	63.6	36.4	▲ 36.4
サービス業	▲ 12.8	15.4	82.1	2.6	12.8	15.4	84.6	0.0	15.4
総計	▲ 0.8	12.7	80.0	7.3	5.4	10.6	84.5	4.9	5.7

- 仕入価格DIは、不動産業でマイナスとなったが、全業種ではプラス5.4となった。来期見通しは、全業種でプラス5.7となっている。
 ●不動産業では、調査開始以降、仕入価格DIが一度もプラスに転じたことがなく、来期もマイナスの見通しとなっている。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
業種別	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI
製造業	4.0	18.7	72.0	9.3	9.4	10.7	85.3	4.0	6.7
建設業	2.2	4.5	90.9	4.5	0.0	2.3	93.2	4.5	▲ 2.2
卸売業	0.0	3.7	92.6	3.7	0.0	3.7	92.6	3.7	0.0
小売業	7.9	22.4	69.4	8.2	14.2	12.2	81.6	6.1	6.1
不動産業	▲ 18.2	0.0	81.8	18.2	▲ 18.2	0.0	63.6	36.4	▲ 36.4
総計	2.9	13.6	78.6	7.8	5.8	7.8	85.9	6.3	1.5

●在庫DIは、今期は全業種で約8割が適正と回答し、全業種でプラス5.8となった。来期見通しも、全業種で8割超が適正と回答し、全業種でプラス1.5となっている。

■受注残■

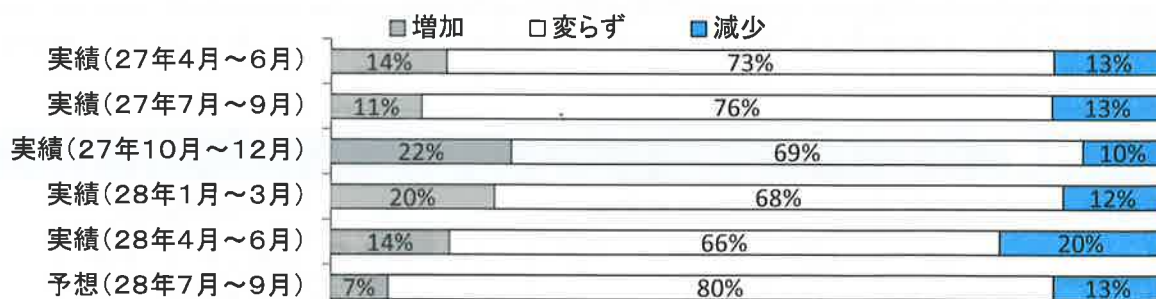
受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
業種別	DI	増加	変らず	減少	DI	増加	変らず	減少	DI
製造業	▲ 9.4	29.7	47.3	23.0	6.7	35.1	51.4	13.5	21.6
建設業	9.1	11.4	50.0	38.6	▲ 27.2	27.3	52.3	20.5	6.8
総計	▲ 2.6	22.9	48.3	28.8	▲ 5.9	32.2	51.7	16.1	16.1

●製造業の受注残DIは、今期は前期比16.1ポイント上昇しプラス6.7となり、来期見通しはプラス21.6となっている。

●建設業の受注残DIは、今期は前期比36.3ポイントと大幅に下落しマイナス27.2となり、マイナスとなるのは調査開始以来3回目で過去最低となった。来期見通しはプラス6.8となっている。

■雇用面の動き■

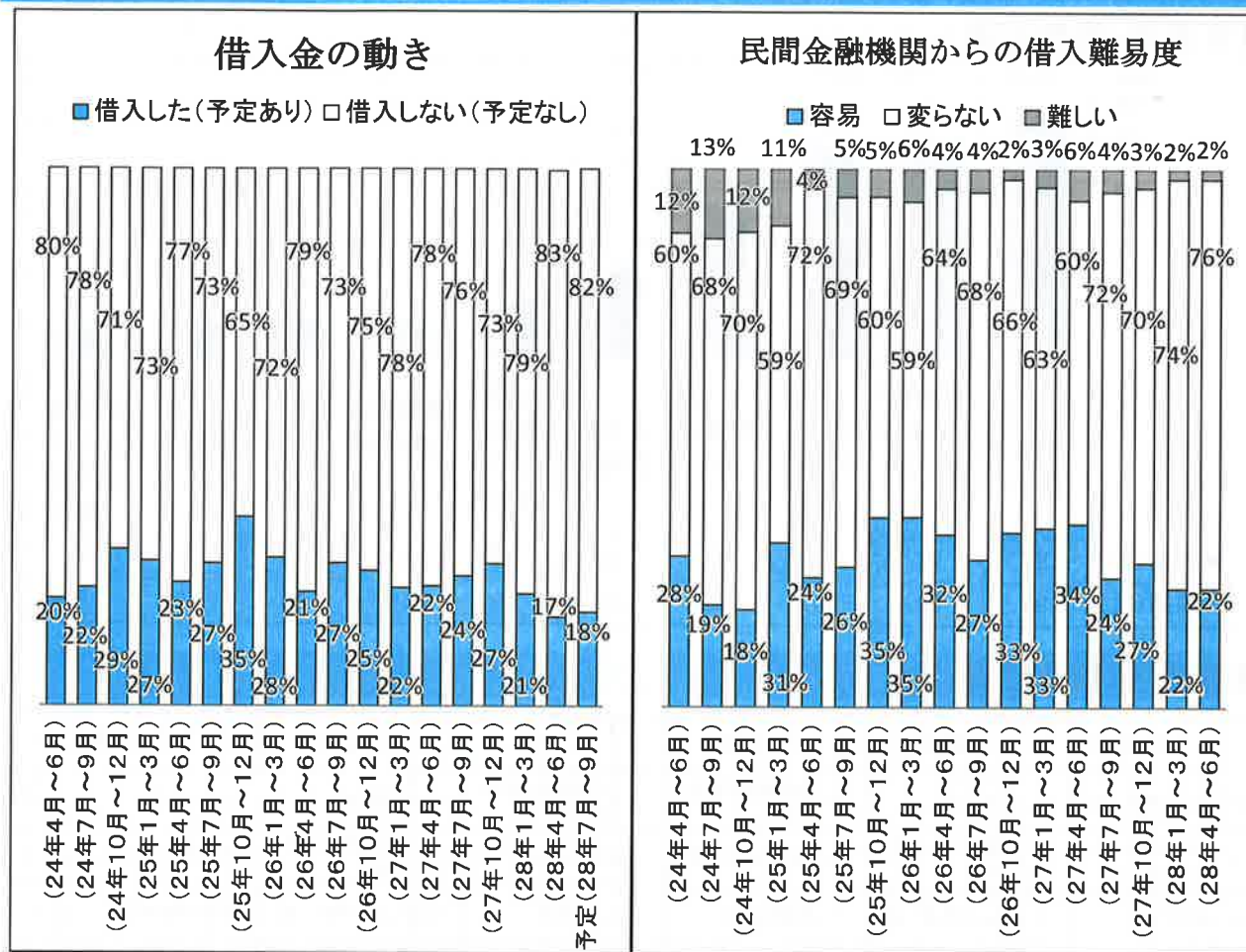
前期比残業時間



人手実績と予想



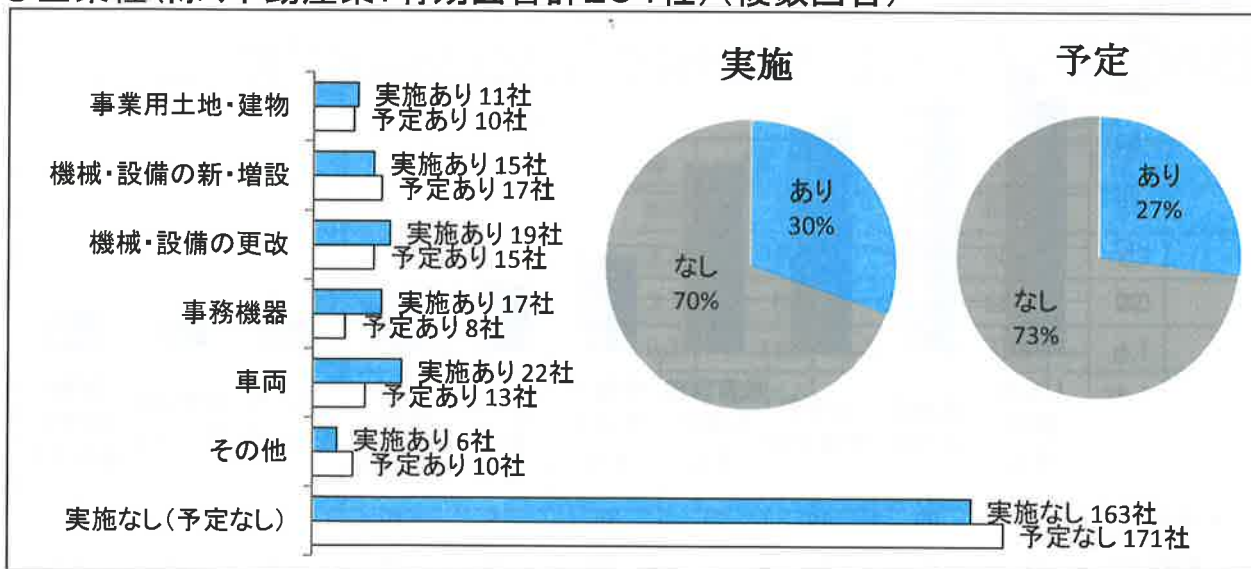
■借入金の動き・難易度■



●借入をした企業の割合は、今期（28年4月～6月）16%と調査開始以来初めて20%を下回り最も低い水準となっている。また、借入の難易度は、『難しい』と回答した企業の割合は、25年4月～6月期から低い水準が継続しており、今期は最も低い水準となっている。

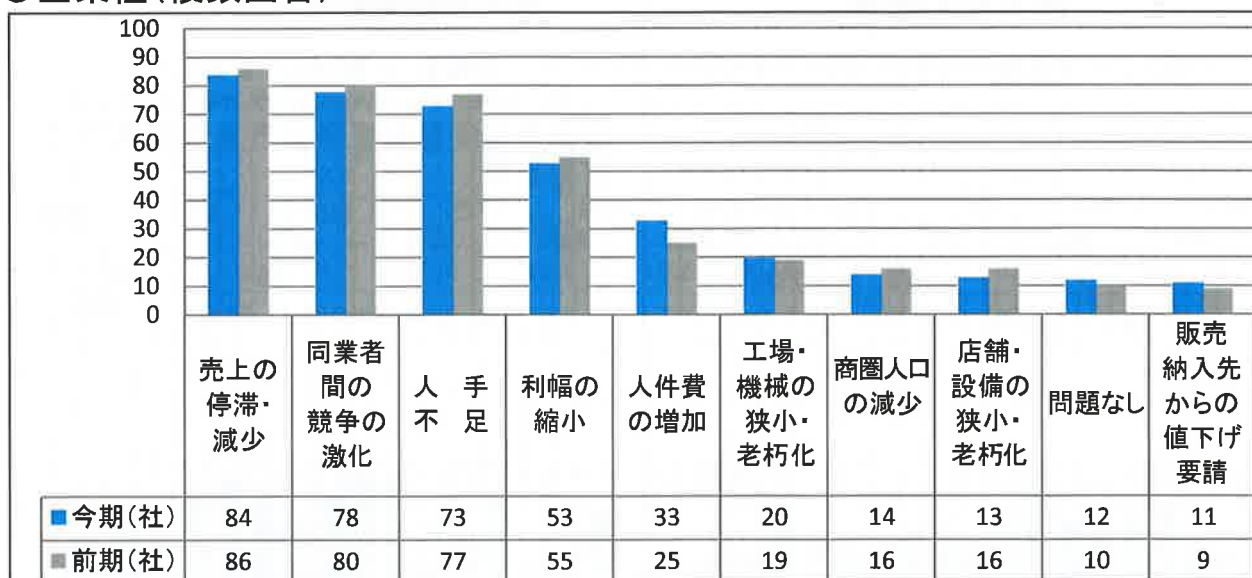
■設備投資の実施(28年4月～6月)と予定(28年7月～9月)■

●全業種(除く不動産業:有効回答計234社)(複数回答)



■ 経営上の問題点 ■

● 全業種(複数回答)

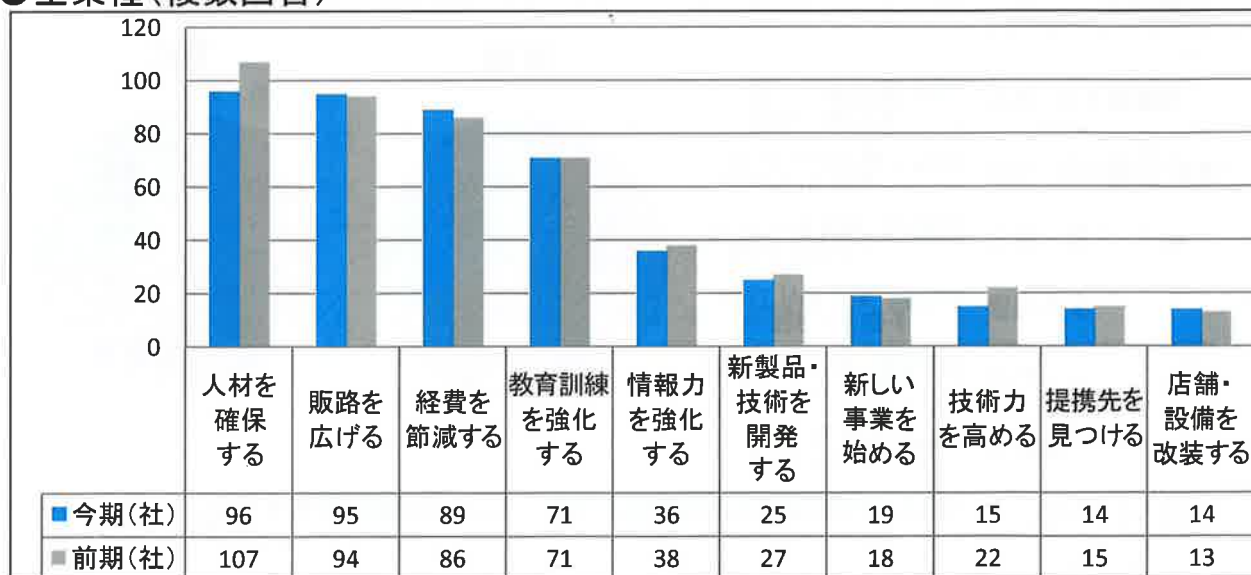


● 業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	売上の停滞・減少	15.2	人手不足	20.0	同業者間の競争の激化	26.2	同業者間の競争の激化	18.3	利幅の縮小	22.7	人手不足	20.2
2位	工場・機械の狭小・老朽化	12.1	同業者間の競争の激化	18.8	売上の停滞・減少	18.0	売上の停滞・減少	16.7	同業者間の競争の激化	18.2	売上の停滞・減少	13.1
3位	人手不足	12.1	売上の停滞・減少	17.5	利幅の縮小	11.5	人手不足	13.3	売上の停滞・減少	13.6	利幅の縮小	11.9
4位	同業者間の競争の激化	7.9	利幅の縮小	13.8	流通経路の変化による競争の激化	8.2	人件費の増加	8.3	商品物件の不足	13.6	同業者間の競争の激化	9.5
5位	利幅の縮小	7.9	技術力の不足	6.3	取引先の減少	4.9	商圏人口の減少	7.5	人件費以外の経費の増加	9.1	人件費の増加	8.3

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種(複数回答)



●業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	22.7	人材を確保する	22.0	販路を広げる	32.8	教育訓練を強化する	16.5	情報力を強化する	25.0	人材を確保する	20.0
2位	人材を確保する	14.4	経費を節減する	15.6	経費を節減する	15.6	人材を確保する	15.7	不動産の有効活用を図る	16.7	経費を節減する	18.0
3位	新製品・技術を開発する	13.8	販路を広げる	15.6	情報力を強化する	12.5	経費を節減する	14.9	宣伝・広告を強化する	16.7	教育訓練を強化する	18.0
4位	経費を節減する	13.3	技術力を高める	13.8	人材を確保する	9.4	売れ筋商品を取り扱う	9.9	提携先を見つける	8.3	販路を広げる	14.0
5位	教育訓練を強化する	8.3	情報力を強化する	12.8	新しい事業を始める	7.8	店舗・設備を改装する	9.1	販路を広げる	8.3	技術力を強化する	11.0

■調査員の調査コメントから■

○4～6月期の景況感(業況判断D I)は、6業種中3業種(建設業、卸売業、小売業)がマイナス水準となり、全業種ではマイナス1.7と、消費増税の反動があった2014年4～6月期以来のマイナス水準となっている。中でも建設業は、調査開始以来2桁のプラスD Iを継続していたが、公共工事や民間工事、更には、住宅建築が減少し、初めてマイナスに転じた。

○消費税増税再延期により、期待していた駆け込み需要が無くなるが、反動減もないため売上計画が立てやすくなると歓迎する声が建設業や小売業から多く聞かれた。

○熊本震災の影響で、特需が発生し、生産が追いつかないとの声が一部の製造業で聞かれた。一方で、物流が滞り売上が減少した、生産拠点が被災し商品が入らなかったため販売機会を逃した、などの声が多数聞かれた。

○自動車メーカーの燃費改ざん問題による販売への影響は小さいと予想する声が多数であったが、今後については、自動車小売業者からは、メーカーの再編による販売店間の競争の激化が予想されるとの声が聞かれた。自動車関連部品製造業者からは、県南企業との競争激化が予想されるとの声が複数聞かれた。

○業界の垣根を越えた異業種交流から連携を進めている企業が増加している。卸売業では、取引先の減少をカバーするためインターネットを利用して個人に直売しているとの声や、個人向けの新商品開発やショールームの改装を予定しているとの声が複数聞かれた。

○小売店からは、“地域産”にこだわることで他店との差別化を図っているとの声が聞かれた。木材木製品製造業者からは、地域産材を活用した家具等の加工を試作しているとの声が複数聞かれた。

○人材不足が深刻な建設業と介護福祉業からは、福利厚生を充実させたことで、退職者がでていないとの声や、パート職員への応募が多いとの声が聞かれた。

■調査要領■

1. 調査対象

当金庫営業エリア内の中小企業

2. 調査時期

2016年5月23日～6月7日

3. 調査方法

当金庫職員による訪問聞き取り調査

4. 分析方法

D Iを中心に分析

5. 季節変動について

業況判断D Iは、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動(季節変動)がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整(季節調整)は行っておりません。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。

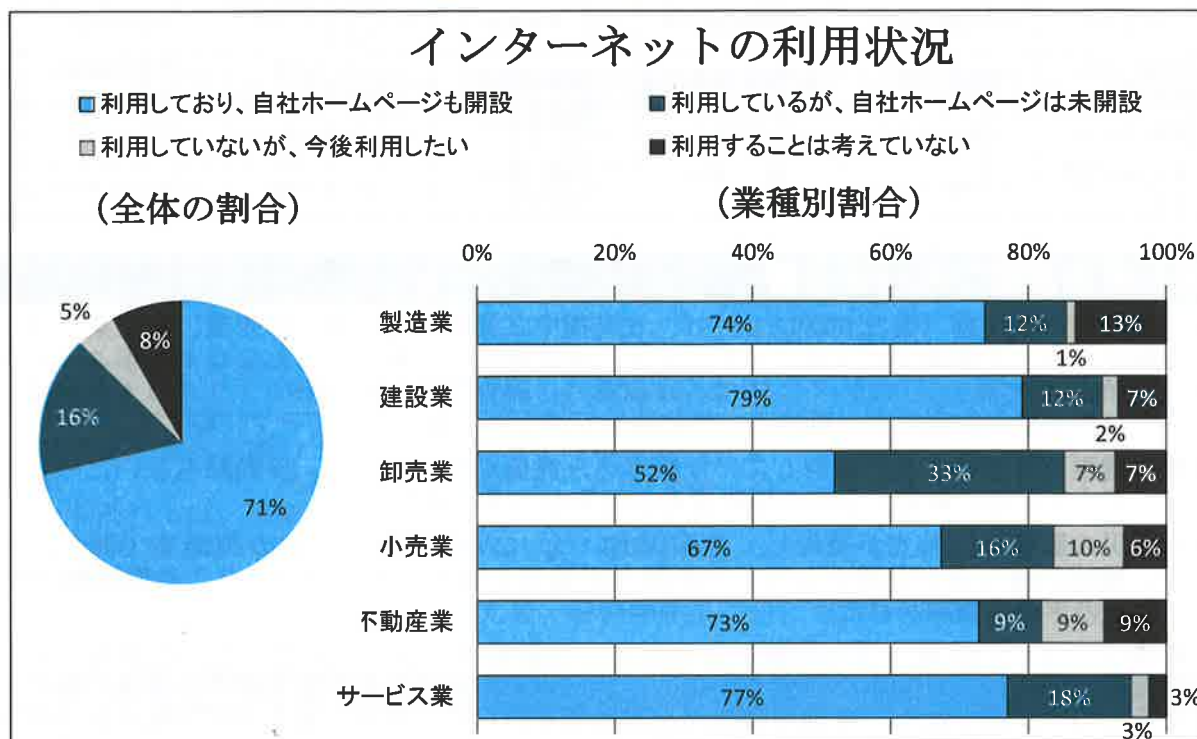
また、掲載資料は正確性・安全性を保証するものではありません。

■調査対象■

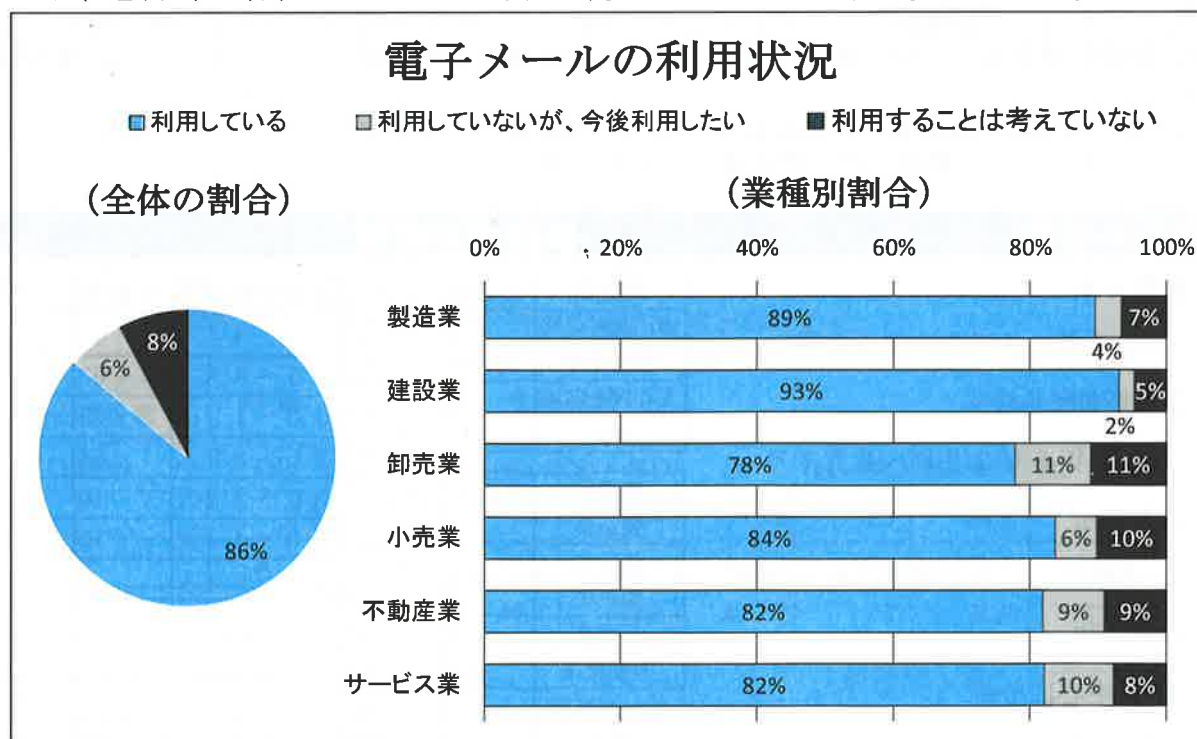
地区別	企業数	比率	従業員規模別	企業数	比率
津山鏡野地域	152	62.0%	1～4人	42	17.1%
真庭地域	49	20.0%	5～9人	63	25.7%
美作勝央地域	44	18.0%	10～19人	55	22.4%
総計	245	100.0%	20～29人	34	13.9%
業種別	企業数	比率	30～39人	10	4.1%
製造業	75	30.6%	40～49人	16	6.5%
建設業	44	18.0%	50～99人	9	3.7%
卸売業	27	11.0%	100～199人	12	4.9%
小売業	49	20.0%	200～300人	3	1.2%
不動産業	11	4.5%	301人以上	1	0.4%
サービス業	39	15.9%	総計	245	100.0%
総計	245	100.0%			

☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆
特別調査「中小企業における事業上の情報収集・発信について」

問1. 貴社では、事業上において、パソコンやスマートフォン等でインターネットを利用していますか。また、同様に事業上で電子メールを利用していますか。

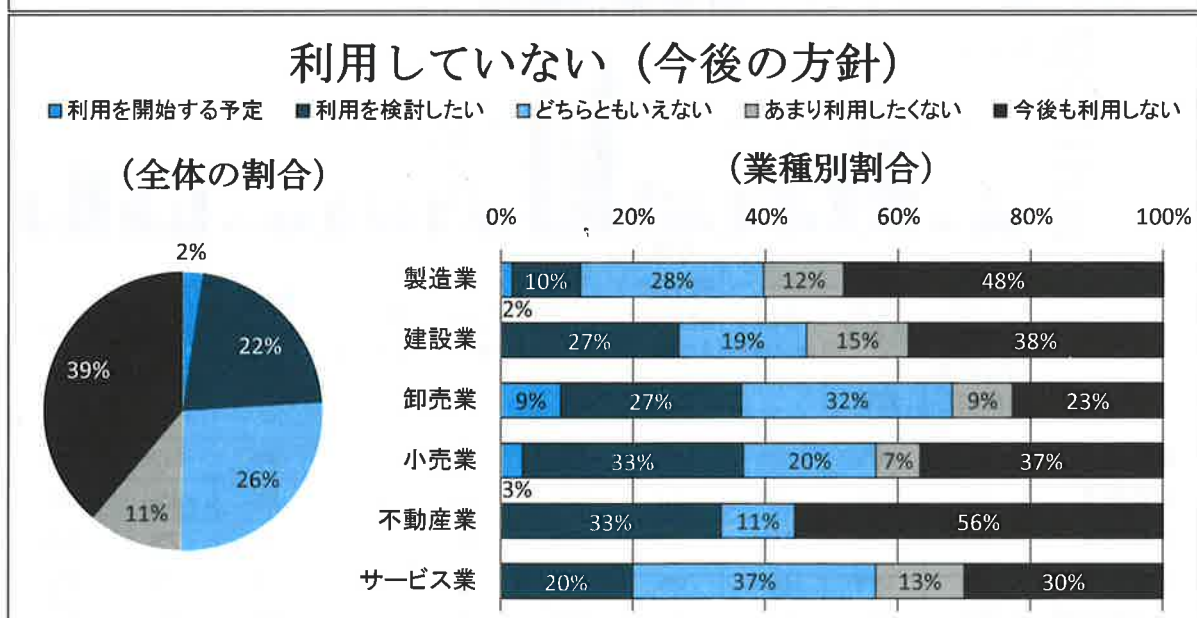
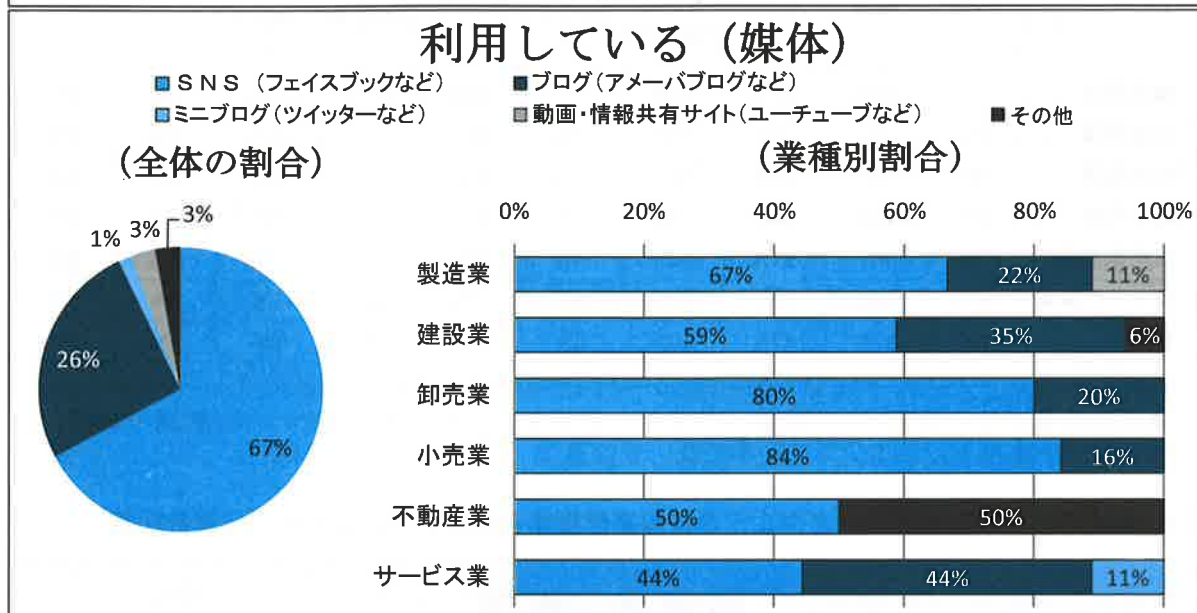
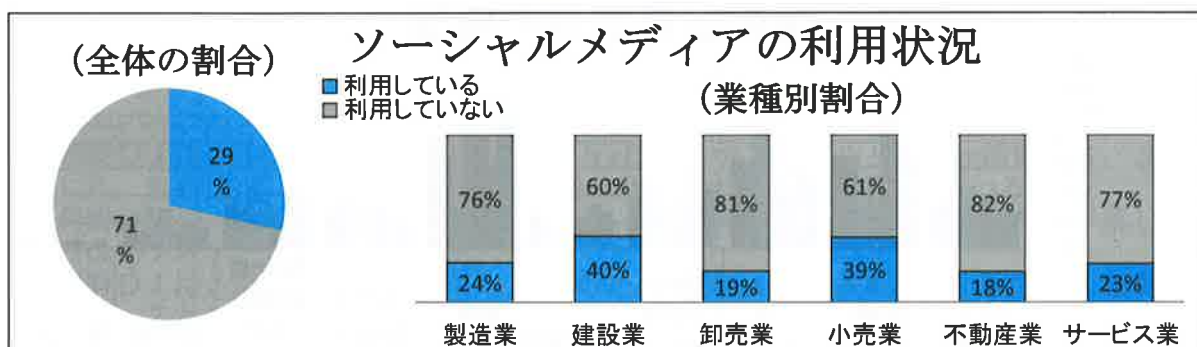


- インターネットの利用状況は、「利用しており、自社ホームページも開設」が71%と最も多くなっている。一方で、「利用することは考えていない」が8%となっている。
- 業種別では、サービス業が95%と最も高く、建設業が91%と続いている。建設業からは、電子入札を行うためにインターネット環境を整えているとの声が多数聞かれた。



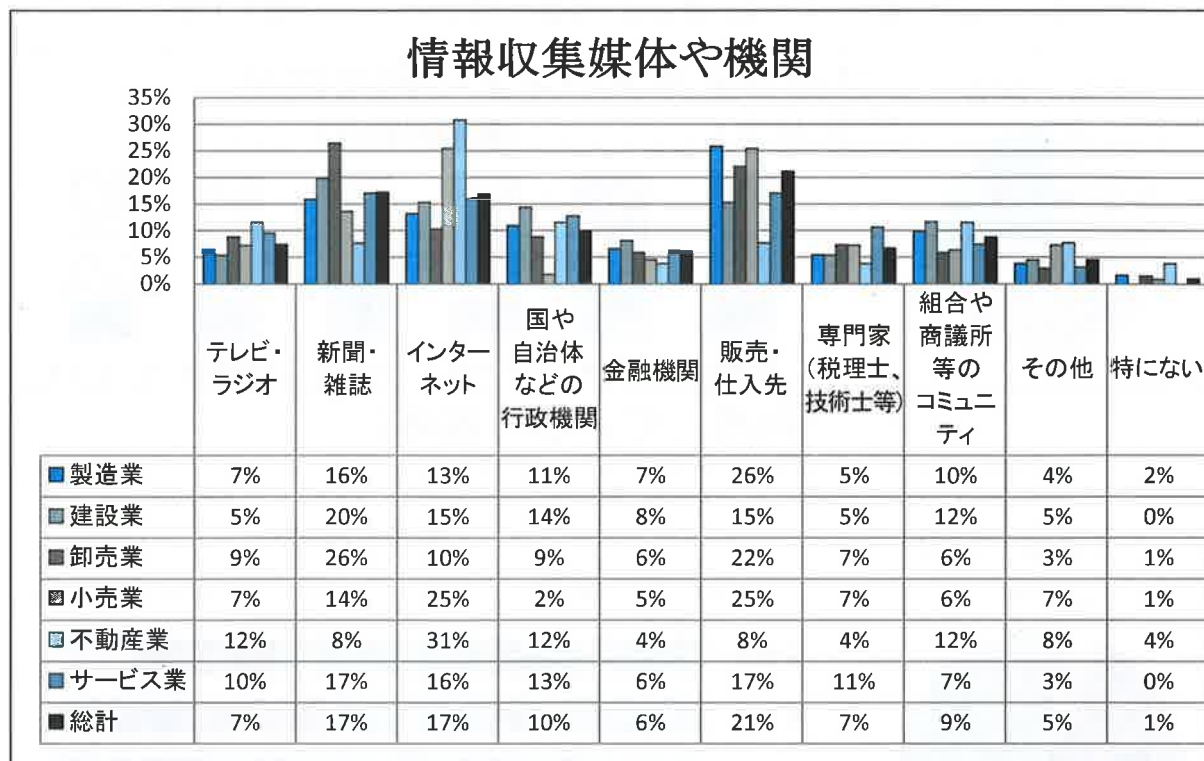
- 電子メールの利用状況は、「利用している」が86%となっている。一方で、「利用することは考えていない」が8%となっている。
- 業種別では、建設業が93%と最も高く、製造業が89%と続いている。製造業からは、製造指示が電子メールにより行われているとの声が多数聞かれた。

問2. 最近、ソーシャルメディアの利用が普及していますが、貴社では、ソーシャルメディアを事業上の情報収集・発信に利用していますか。利用している場合は、最も利用している媒体をお答え下さい。また、利用していない場合は、今後の方針について、お答え下さい。



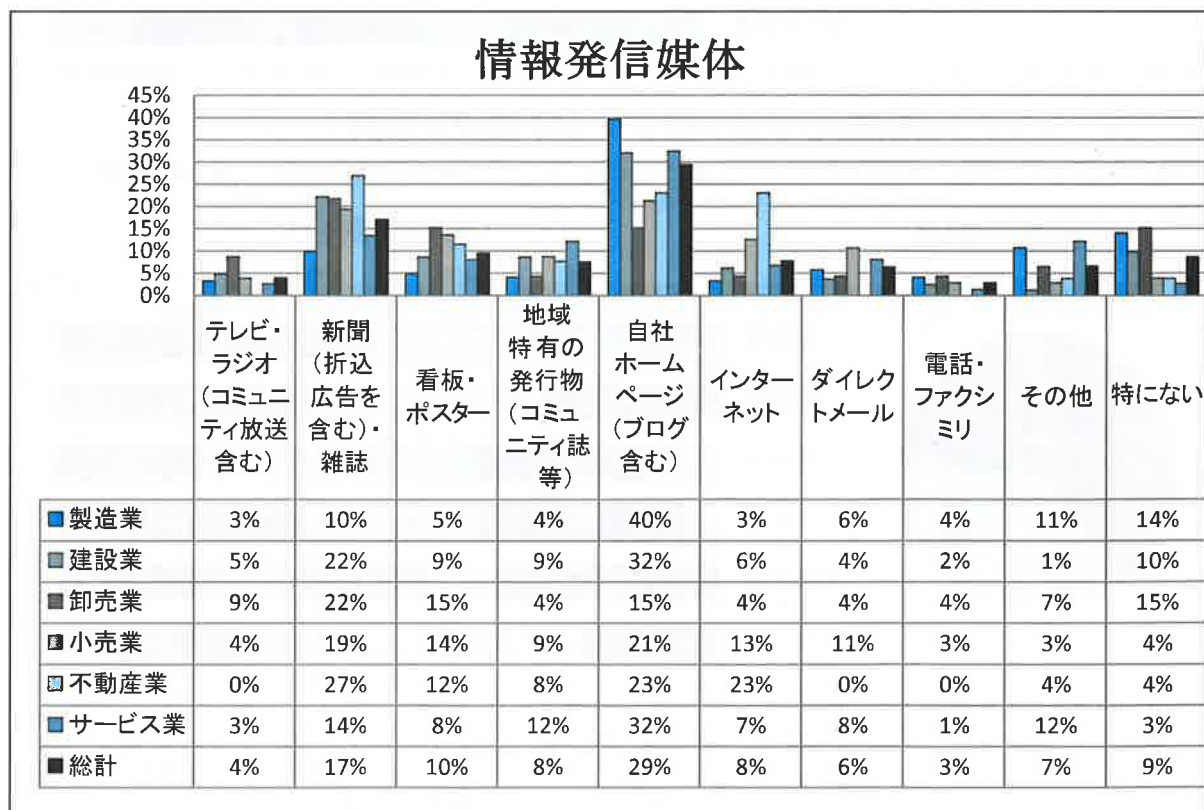
- ソーシャルメディアを利用しているとの回答は29%となっている。
- ソーシャルメディアの利用媒体としては、SNS (フェイスブックなど) が最も多く、次いでブログ (アメーバブログなど) が続いた。建設業 (利用率40%) と小売業 (利用率39%) でソーシャルメディアの利用が進んでおり、全業種平均を上回っている。
- ソーシャルメディアの今後の方針としては、「今後も利用しない」が最も多く、次いで「どちらともいえない」が続いた。製造業からは、必要を感じていないとの声が複数聞かれた。

問3. 貴社では、主に事業展開上の情報収集にあたって、どのような媒体や機関を活用していますか。（複数回答）



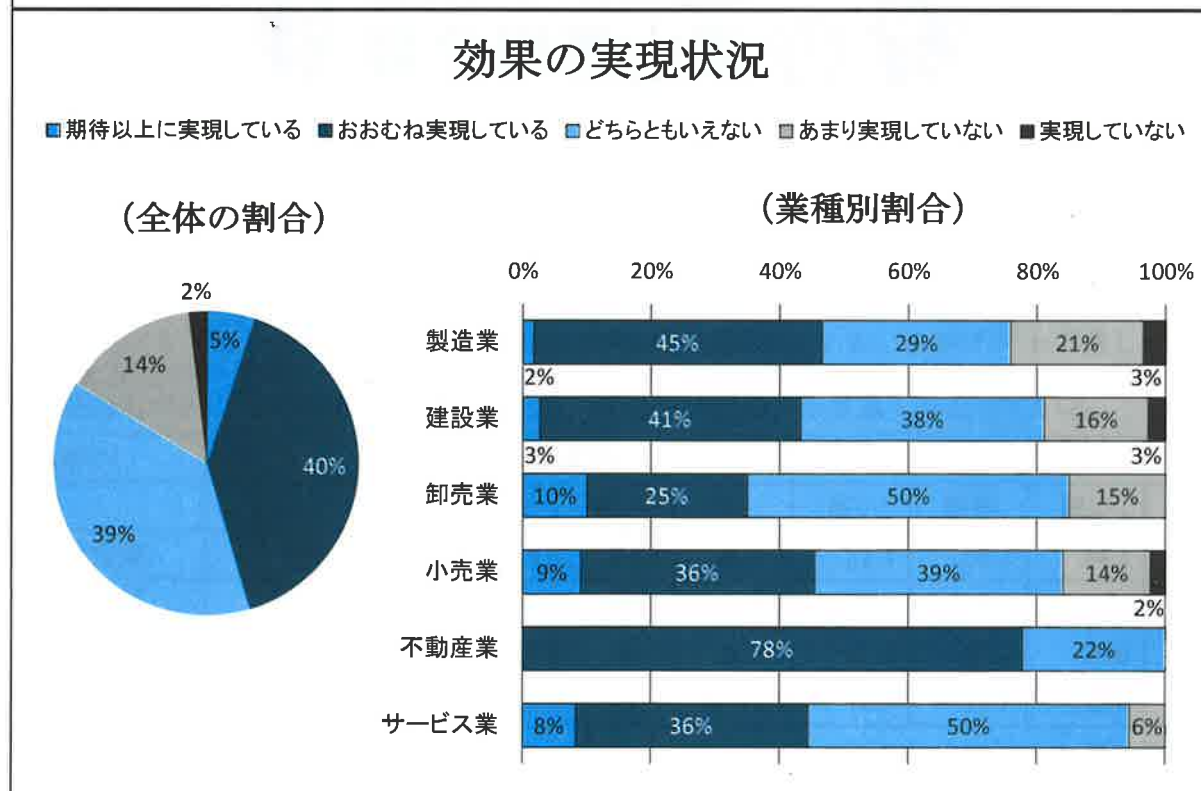
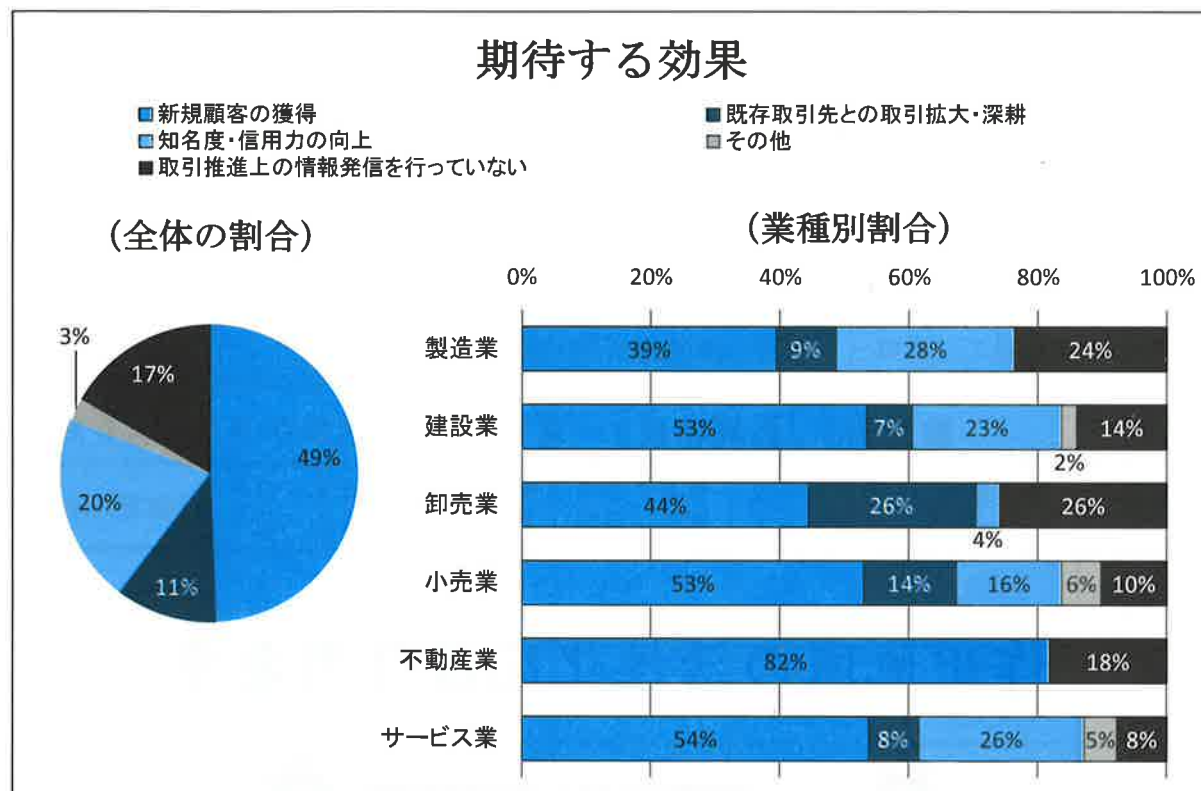
●情報収集媒体や機関は、「販売・仕入先」が21%と最も多く、次いで「新聞・雑誌」と「インターネット」が17%で同率が続いている。

問4. 貴社では、取引推進上、どのような情報発信媒体を活用していますか。（複数回答）



●情報発信媒体は、「自社ホームページ」が29%と最も多く、次いで「新聞・雑誌」が17%と続いている。一方で、「特になし」が9%となっている。

問5. 貴社では、取引推進上活用している情報発信媒体には、主にどのような効果を期待していますか。また、期待する効果の実現状況についてお答えください。



● 情報発信媒体に期待する効果は、「新規顧客の獲得」が49%と最も多く、次いで「知名度・信用力の向上」が20%と続いている。特に不動産業からは、新規顧客のほとんどがインターネットを見て来店しているとの声が聞かれた。

● 効果の実現状況としては、「おおむね実現している」が40%と最も多くなっている。次いで、「どちらともいえない」がほぼ同率で続いている。効果が実現していないとの回答の中には、ホームページを開設したが、更新を一度もしていないとの声が聞かれた。

作州地域の活性化応援信用金庫



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫

津山信用金庫



岡山県津山市山下30-15
0868-22-4121
地域創生部
(担当：杉山、岡部)